

2020年8月31日

各 位

株 式 会 社 オウケイウェイヴ
代 表 取 締 役 社 長 福 田 道 夫
(コード番号:3808 名証セントレックス)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 野 崎 正 徳
電 話 番 号 03-6841-7672

貸倒引当金繰入（販売費及び一般管理費）、特別損失の計上及び 前期実績との差異並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2020年6月期決算におきまして下記のとおり貸倒引当金繰入額、特別損失を計上するとともに、本日公表いたしました2020年6月期（2019年7月1日～2020年6月30日）の連結業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較となっております。また、本日開催の取締役会において、下記のとおり、未定としておりました2020年6月30日を基準日とする剰余金の配当につきましては無配とすることとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

I. 貸倒引当金繰入（販売費及び一般管理費）及び特別損失の計上について

1. 貸倒引当金繰入（販売費及び一般管理費）の内容（連結）

2020年6月期において、WEBサイト構築等の売上に関し代物弁済を受けていた暗号資産について、相手先と売買契約を締結しておりましたが、相手先から期限内の支払いが行われず、また相手先の暗号資産の保管システムの不備により当該暗号資産の換金化が決算期末時点でできない状況であったことから、当該暗号資産の売却に係る未払い分396,041千円について貸倒引当金繰入を販売費及び一般管理費に計上いたしました。

2. 特別損失の内容

(1) 投資有価証券評価損（連結・個別）

当社は、2019年10月7日にビート・ホールディングス・リミテッド（以下、「ビート社」）の株式804,488株を1,460,000千円で取得すること決議し、2020年6月期第3四半期までに551,020株を取得いたしました。2020年2月10日付開示「特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ」及び2020年5月15日付開示「営業外費用（仮想通貨評価損）の計上及び特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ」でお知らせの通り、ビート社株式の評価については、監査法人より市場価格での評価とすべきとの見解に至り、2020年5月29日に取得した同社株式253,468株について取得価額と時価の差額435,413千円を特別損失（投資有価証券評価損）として2020年6月期第4四半期に計上いたしました。2020年6月期連結累計期間におけるビート社株式の投資有価証券評価損は1,383,164千円となります。また、当社個別決算においても同額の投資有価証券評価損を計上しております。

(2) テクニカルライセンスの減損損失（連結・個別）

当社は2018年11月14日に第三者割当て調達した資金により、米国のデータ解析企業との業務提携に係る同社製品の初期取扱費用を2,000万米ドルで取得し、技術使用権である「テクニカルライセンス」として無形固定資産に計上しております。当社は、当該事業についてアジアの暗号資産取引所への販売を計画し取り組んでまいりましたが、2020年6月期までに当初計画通り進捗していない結果となっております。しかしながら、2020年7月にAMLソリューション「OKWAVE JaNUS」をリリースしており今後の当該事業の販売計画を見直した結果、未償却の帳簿価額を長期で回収が見込める価額まで減額し、302,394千円を減損損失として計上いたしました。また、当社個別決算においても同額の減損損失を計上しております。

(3) のれんの減損損失（連結）

当社は、2019年4月16日に第三者割当て調達した資金により、株式会社LastRootsを連結子会社化しておりますが、その取得に係るのれんについては、同社の2020年4月期における期初計画に対して暗号資産の取引量にかかる手数料が低調に推移したことから業績が大きく乖離しており、今後の回収可能性を鑑みて評価を行った結果、のれんの未償却残高全額である398,665千円を減損損失として計上いたしました。

(4) 関係会社株式売却損（個別）

2020年5月27日付開示「のれんの減損処理による特別損失計上及び株式売却による影響内容確定のお知らせ」で記載のとおり、2020年5月25日付で連結子会社であったOKプレミア証券株式会社の全株式を売却したことに伴い、関係会社株式売却損255,514千円を特別損失として計上することとなりました。なお、当該売却損は、連結決算上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(5) 関係会社株式評価損（個別）

当期末において連結子会社である株式会社LastRootsの業績が、前(3)に記載の通り回復に至っておらず赤字が継続していることから、その財政状態が悪化し、当社が保有する同社株式について帳簿価額に対する実質価額が著しく低下しており、回復可能性も見込めないため、同社の株式を純資産価額まで減額することとし、関係会社株式評価損1,019,082千円を特別損失として計上いたしました。なお、当該評価損は、連結決算上は消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

II. 2020年6月期通期連結業績の前期実績との差異について

1. 差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A） （2019年6月期）	百万円 4,892	百万円 1,071	百万円 901	百万円 629	円 銭 70 44
当期実績値（B） （2020年6月期）	4,795	△926	△996	△2,952	△323 55
増減額（B－A）	△96	△1,997	△1,898	△3,582	
増減額（%）	△2.0	－	－	－	

2. 差異の理由

売上高についてはソリューション事業における法人向けサービスの順調な拡大の一方で、フィンテック事業において前期ほどの大口案件を獲得できなかったことにより、連結では前年を下回りました。営業利益、経常利益については主に「I. 1. 貸倒引当金繰入（販売費及び一般管理費）の内容（連結）」に記載のとおり引当金の計上を行ったこと、及び利益率の高いフィンテック事業の減収及び金融子会社の費用構造の改善に時間を要した影響により、前期実績値を下回りました。また、親会社株式に帰属する当期純利益につきましては、上記「2. 特別損失の内容」に記載しておりますとおり減損損失が発生したことから、前期実績値を下回る結果となりました。

Ⅲ. 剰余金の配当（無配）について

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年8月14日公表)	前期実績 (2019年6月期)
基準日	2020年6月30日	同左	2019年6月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	2円50銭
配当金総額	—	—	22百万円
効力発生日	—	—	2019年9月30日
配当原資	—	—	利益剰余金

2. 無配の理由

当社グループは、利益還元につきましては、業績の推移・財務状況、将来の事業展開、投資計画等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスを取りながら検討実施していくことを基本方針としております。また、2020年6月期配当については、連結業績について事業の特性上市況等外部要因による影響を受けやすいことから、これまで未定としておりました。

しかしながら、当社は、本日開示の「2020年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」のとおり、当期において特別損失を計上することとなりました。これにより、利益剰余金が毀損することを考慮し、財務体質を立て直すことが急務となったため、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

（ご参考）年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭
前期実績（2019年6月期）	0円00銭	2円50銭	2円50銭

以 上